

# 新北市藝遊

新北市ニューアート新北市博物館と芸術文化情報

日文版

3

Mar.  
2021

海洋文化  
與臺灣風貌  
Beauty of the Sea:  
Maritime Culture and Faces of Taiwan  
2021.1.27 - 6.20

## カバーストーリー

### 海之美—海洋文化と台湾の風貌

地球の表面の71%は海であり、海に周囲を囲まれた台湾島では、昔から今日に至るまで、国民の生活が海と密接に関係したものとなっています。本展は、新北市十三行博物館と国立歴史博物館の共同企画です。考古標本、民族学コレクション、芸術作品など111点(組)を展示し、多角的で豊かな内容により、台湾の先史時代から現代に至るまで、異なった人種と海との相互作用の中で生まれた知恵の結晶をご覧くださいませ。

#### 先史時代の海洋貿易の証明

十三行博物館の柏麗梅館長によると、千年以上前に八里平原で活躍した十三行村の人々は典型的な「海洋民族」であり、海は彼らにとって障壁ではなく、交流のルートだったということです。展示品の中には、国の「重要古物」に分類される美しいガラス装飾品がいくつかあり、これは当時貴重な「流行の高級舶来品」でした。考古学者によると、彼らは東南アジア、中国、西アジアなどからやって来ており、先史時代には海を越えた交易が盛んで、台湾の文化的局面にも深い影響を与えていたことを証明しています。

#### 海に浮かぶ島に伝わる信仰物の展示

国立歴史博物館の廖新田館長は、台湾の文化の独自



性は海と密接に関係しており、何世紀にもわたって育まれてきた漁業文化、海洋文学、海洋芸術、移民信仰は、海に囲まれている台湾に燦然と輝く注目を加えていると話します。また、台湾で最も栄えた媽祖、王爺信仰は、海と密接に関係した宗教イベントです。今回の特別展では、清朝末期民国初期の媽祖神像を2体展示し、その素朴な造形は、慈悲深く荘厳な雰囲気醸し出しており、一見の価値があります。

#### 16点の貴重な展示品を初公開

今回の展示会では、全16点の展示物が初公開され、中には初めて披露される海から引き揚げられた絶滅種を含む9点の「古生物化石」が含まれており、氷河期に台湾海峡がかつては動物の移動のための重要な陸橋であり、生息地であったことを示しています。また、固定遺跡である十三行考古遺跡から出土された「サメの歯」も7点あり、外観から異なる種類のサメを見分けることができます。これは、古代の十三行集落周辺の海域に豊かなサメの生態があったかもしれないことを反映しているほか、十三行の人々がサメを捕まえていた可能性があることも示しています。

#### 講演会とビーチクリーン活動を組み合わせて、共に海を守る

本展では、特別に現代の海洋環境問題の創作も取り入れています。素晴らしい考古遺物や芸術作品を鑑賞しながら、日増しに厳しくなる海洋環境の危機に対して、共に海の持続可能な発展を守り、多様性と美しさを守るために、海の島民である私たちはどんな行動を取るべきかを考えていただくことができます。展覧会期間中は、テーマ講演会、ビーチクリーン体験、海洋廃棄物を利用した創作などのシリーズイベントが行われます。ぜひ十三行博物館で鑑賞し、そして体験してください。



### 海之美—海洋文化と台湾の風貌

● 即日より03/21まで  
● 新北市立十三行博物館(新北市八里区博物館路200号)  
☎ 02-2619-1313  
🌐 www.sshm.ntpc.gov.tw

## 水金九・大地の博物館特別展

黄金博物館は現在、ジオパークをテーマとする特別展を開催中。同展では、ジオパークの発展の歩みと、水金九(水涌洞・金瓜石・九份)地区の豊かな地質遺産を展示しています。詳細は黄金博物館の公式ページをご覧ください。



会期 即日より05/30まで  
場所 新北市立黄金博物館

📍 新北市瑞芳区金光路8号  
☎ 02-2496-2800  
🕒 月曜~金曜 09:30-17:00、土曜~日曜 09:30-18:00(第一月曜日休館)  
🚗 台北—金瓜石:台北 MRT「忠孝復興」駅2番出口前にて基隆客運(バス)1062系統に乗車→瑞芳、九份を経て終点「金瓜石(黄金博物館)」にて下車。



## 2020 台湾国際陶芸ビエンナーレ

世界5大陸の陶芸家たちが精練した109点の現代陶芸作品を展示。創作テーマは各地から取り込まれ、様々な陶土、釉薬、焼成方法により、社会の現実を的確に表現し、土との触れ合いの痕跡を留めながら、瞬時に変化する世界から生じた思惟を伝達しています。



会期 即日より05/09まで  
場所 新北市立鶯歌陶磁博物館

📍 新北市鶯歌区文化路200号  
☎ 02-8677-2727  
🕒 月曜~金曜 09:30-17:00、土曜~日曜 09:30-18:00(第一月曜日休館)  
🚗 鉄道→台湾鉄道の区間車に乗車して鶯歌駅にて下車。文化路の出口から右折して文化路老街商圏から文化路に沿って徒歩10分。



## 赤琥珀—紅茶文化特別展

詩的な視点から紅茶の成り立ちの謎を解析し、紅茶がどのように西洋に伝わって世界を風靡していったのかなど、台湾の輝かしい紅茶貿易の歳月を探ります。現代の紅茶の新しい姿をまとめ、紅茶がどのように世界や人々の生活を変えていったのかをお伝えします。



会期 即日より11/08まで  
場所 新北市坪林茶業博物館

📍 新北市坪林区水德里水鹭凄坑19-1号  
☎ 02-2665-6035  
🕒 月曜~金曜 09:00-17:00、土曜~日曜 09:00-17:30(第一月曜日休館)  
🚗 MRT→新店駅で下車し、923または緑12の新店客運バスに乗り換えて坪林中学駅で下車、徒歩約5分で到着します。



## 新北市立淡水古蹟博物館

古跡群を守るために創設された台湾で初めての博物館淡水紅毛城、小白宮(清末期淡水税関の税務司の官邸)、滬尾砲台、淡水税関砲頭、淡水街の街長・多田栄吉故居、淡水日本警官宿舎、ダグラス洋行(得忌利士洋行)の6つの歴史的建築物と、27の歴史的ランドマークで構成されています。



会期 即日より  
場所 淡水紅毛城

📍 新北市淡水区中正路28巷1号  
☎ 02-2623-1001  
🕒 月曜~金曜 09:30-17:00、土曜~日曜 09:30-18:00(第一月曜日休館)  
🚗 MRT→淡水信義線の淡水駅紅26番線、836番線のバスに乗車各古跡ポイントのバス停で下車。



## 虹の誓約—タイヤル族の織物文化特別展

織物工芸は、タイヤル族の女性が民族の記憶やアイデンティティを伝承する文化的資産です。この展示会では、タイヤル族の地域分布、機織りの技術、織物の装飾から織物と日常生活の文化的意義が紹介され、タイヤル族の文化における命の意味を理解することができます。



**会期** 即日より 03/21 まで  
**場所** 新北市立十三行博物館

- 📍 新北市八里区博物館路 200 号
- ☎ 02-2619-1313
- 🕒 09:30-17:00 ( 第一月曜日休館 )
- 🚶 淡水線「淡水駅」→渡し船→紅 13 番バス→十三行博物館、または、渡し船→紅 22 番バス、704 番バス→仁愛路口→徒歩 5 分→十三行博物館。



## 華やかで精細な織物芸術

泰雅(タイヤル)族は台湾原住民の中で最も機織りに長けた民族です。伝統的な衣服の多くがカラムシを主原料としており、更に色鮮やかな毛糸や貝殻装飾をあわせています。織物の衣服・飾りには、上着、胸当て、スカーフ、スカート、頭飾りなどがあり、且つ地区により色彩も異なります。



**会期** 即日より  
**場所** 織物展示エリア

- 📍 新北市烏來區烏來里烏來街 12 号
- ☎ 02-2661-8162
- 🕒 月曜～金曜 09:30-17:00、土曜～日曜 09:30-18:00 ( 第一月曜日休館 )
- 🚶 MRT 新店ラインで終点・新店駅へ。新店客運 849 号バスに乗り換えて烏來メインステーションで下車。



## 板橋・府中エリアでリアル謎解きゲーム：『古都追跡』シリーズ第 4 シーズン

延べ 30,000 回の視聴回数を誇る、大人にも子供にも大人気のリアル謎解きゲームの最終シーズンが間もなく登場します。このゲームコンテンツは、あらゆる年齢層に適しています。新年の連休期間、大人も子供も林家花園へぜひ足を運び、冒険をお楽しみください。



**会期** 即日より  
**場所** 国定古跡林本源園邸

- 📍 新北市板橋区西門街 9 号
- ☎ 02-2965-3061#23
- 🕒 09:00-17:00 ( 第一月曜日休館 )
- 🚶 MRT → 板南線(青ライン)「府中駅」で下車し、1番出口から徒歩約 8 分。



## 曲がり角の 29 種類の練習

新北市は 2018 年から、国際的に有名な絵本作家とコラボレーションした絵本を発表しています。翡翠ダムからやってきたカエルがこのシリーズ絵本の主人公です。カエルと一緒に新北市の自然、人、文化の生態系を探りましょう。また、新北市に関するさまざまなことをアニメーションで伝えます。



**会期** 即日より 04/15 まで  
**場所** 府中 15

- 📍 新北市板橋区府中路 15 号
- ☎ 02-2968-3600#211
- 🕒 09:30-18:30 ( 第一月曜日休館 )
- 🚶 MRT → 板南線に乗りし、府中駅で下車。2 番出口を右へ進み、徒歩約 40m で到着。もしくは 1 番出口を右へ進み、道を渡って直進。約 3 分で到着。



## 2021 年新北市台湾クラフトワークショップ合同展

新北市にある 14 の台湾クラフトワークショップが一堂に会し、共同で展示会を開催します。職人ごとに、陶芸、金工、石工、太鼓、皮革などさまざまな創作カテゴリや特徴があります。職人の巧みな技と創造力による新北市の美しい工芸をみなさまにお見せします。



**会期** 即日より 03/28 まで  
**場所** 新北市芸術文化センター

- 📍 新北市板橋区莊敬路 62 号
- ☎ 02-2253-4417
- 🕒 09:00-17:00 ( 第一月曜日休館 )
- 🚶 MRT 板南ライン(ブルーライン)で新埔駅へ。4 番出口を出て右折し、横断歩道を渡り文化路二段 182 巷まで直進し、右折。再び直進し約 3 分で到着。



## 童楽絵(ジョイ・パーティー)—林佩君個展

アーティストは、写実的な肖像を独自の「可愛い」という美学で愛らしい風格へと転換させました。絵画を通じて様々な重い社会問題を異なる物語性のある作品へ転換することで、見る者のイメージに関わる脳内メモリーを刺激し、見る者と作品との対話関係をより一層広範囲なものにします。



**会期** 03/10 より 03/30 まで  
**場所** 435 芸術文化特区

- 📍 新北市板橋区中正路 435 号
- ☎ 02-2969-0366
- 🕒 月曜～金曜 09:00-17:00、土曜～日曜 09:00-18:00 ( 第一月曜日休館 )
- 🚶 MRT → 板南線(青ライン)「板橋駅」で下車し、2 番出口から板橋バスステーションで 310、307、810、857、786 バスに乗り、「板橋中学、板橋 435 芸術文化特区」で下車。



## 新莊文化芸術センター—芸術文化を継承し伝える基地

赤レンガがメインの外観は、ライトシアンとライトグレーの石が組み合わされ、丸みがかったデザインになっています。空間は多機能で多元化した設計で、演芸ホール、芸術ホール、刊行物コーナー、閲覧コーナー、布袋劇博物館があります。芸術文化の領域を引き続き無限に拡張し続けていきます。



**会期** 即日より  
**場所** 新莊文化芸術センター

- 📍 新北市新莊区中平路 133 号
- ☎ 02-2276-0182
- 🕒 月曜～金曜 09:00-21:00、土曜～日曜 09:00-17:30
- 🚶 MRT 「新莊」線に乗り、新莊駅で下車。1 号出口で 257 に乗り換え、「新莊プール駅」で下車。



## 松絵湘纏—水彩と客家纏花の対話

客家語の伝承師であり、ご夫婦でもある黄振松先生と黎湘玲先生が、水彩と纏花工芸の合同展を通して、美学教育の推進に取り組めます。水彩芸術の発展性の探求と、纏花工芸の繊細な美しさを展示し、新北の客家文化の本質を再現します。



**会期** 即日より 03/21 まで  
**場所** 新北市客家文化園区

- 📍 新北市三峽区隆恩街 239 号
- ☎ 02-2672-9996
- 🕒 月曜～金曜 09:00-17:00、土曜～日曜 09:00-18:00 ( 第一月曜日休館 )
- 🚶 板南線(青ライン)「永寧駅」→台北客運バス 917、981 三鶯線先導バス



## 甬道を体験しよう

日本統治時代に造られた弾薬輸送用の通路は、各部屋との仕切りがクロスするように設計されており、弾薬と人を護るようになっていました。合計 10 の出入り口があります。戦後、軍人とその家族が入居してからは、子供たちの探検ごっこの秘密基地となりました。



**会期** 即日より  
**場所** 空軍三重一村

- 📍 新北市三重区正義南路 86 巷
- ☎ 02-2979-1815
- 🕒 10:00-18:00 ( 第一月曜日休館 )
- 🚶 MRT 「中和新蘆線-迴龍線」に乗りし、「台北橋」で下車後、徒歩で文化南路→福德南路→正義南路 86 巷を進みます。



## 2021 謝家文イラスト個展—ミルロードでの日々

英国のケンブリッジには、市の中心部を貫通し、市街地全体を結ぶミルロードという通りがあります。作者はスケッチに文字を加えるという形式で、数年の留学生活の間に起こった大小様々な面白い出来事をじっくり語っています。



**会期** 即日より 03/14 まで  
**場所** 新北市美麗永安芸術文化センター

- 📍 新北市中和区中和路 390 号 2 階
- ☎ 02-2929-8830
- 🕒 11:00-19:00 ( 第一月曜日休館 )
- 🚶 MRT オレンジラインで永安市場駅下車。

